

創

—第88回—

家族みんなで

残暑厳しい日々が続いています。体調管理が難しいですね。

先月は「創」をお休みしましたが私は必要以上に元気です（笑）ご安心ください。

暑さもそうですが、今後とも注意が必要なのは台風。近年は県内はもろろ九州内や全国各地で甚大な被害が発生しています。雨の降り方も尋常ではありませんよ。これも異常気象という事なのでしようか。

いずれにしても、災害に備え最低限の備蓄品の準備等を平常時にお願します。

よく「自助」「共助」「公助」という言葉が使われますが、「自助」「共助」は自ら、または地域の力でまずは命が助かるための行動を担っていただ



別府市長
長野 恭紘

き、「公助」として市が避難所の準備等をするという役割分担の話だと思います。今正に避難所となる小中学校の体育館、地区公民館にエアコンの整備を進めています。

そしてずっと目指してきたのは家族の一員であるペットと一緒に避難できる「ペット同伴専用避難所」の整備です。ようやくその準備ができました。次回避難所の開設時には野口ふれあい交流センターに25区分を準備します。

これだけで十分とは言えないと思いますが、今後も「家族みんなで」安心して避難ができるペット同伴専用避難所の充実に取り組みます。

（9月6日執筆）



フォトべっぷ



元気に体を動かそう—8月17日、県内では4年ぶりの開催となる「夏期巡回ラジオ体操・みんなの体操会」が別府公園で行われました。ラジオで全国に生中継され、約600人の市民の皆さんが早朝から爽やかな汗を流しました。



伝統行事、華やかに—8月26～27日、浜脇温泉周辺でべっぷ浜脇薬師祭りが開催されました。見立て細工の展示と薬師音頭踊に加え、今年の名物の花魁道中やお化け屋敷が4年ぶりに復活し、多くの見物客を魅了しました。



別府の夜、ナイトバスが救う—週末深夜のタクシー不足の問題解決に向け、市民の皆さんの移動手段確保のために導入した「ナイトバス」が8月25日に運行を開始し、出発式を行いました。皆さんが別府の夜を満喫するためにぜひご活用ください。



安全安心なまちづくりの実現へ—8月25日、市消防本部で別府市とB & G財団との「防災拠点の設置及び災害時相互支援体制構築」事業に係る協定書調印式・配備機材お披露目式を行いました。本事業を通じて、防災体制の更なる強化に取り組みます。